

資料 2 (当日配布資料)

芦屋港活性化推進委員会・海釣機能専門分科会

## これまでの検討結果の整理と今後の検討事項補足資料

令和元年 11月 20日 (水)  
芦屋町 (芦屋港活性化推進室) 作成

海釣機能専門分科会報告書（平成30年10月）より

| 海釣機能整備のあり方  | 今後の検討課題   | 特記事項  |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●整備方針                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・コストや様々な課題から、段階的な整備</li> <li>・東防波堤を第1期(ただしこの中でも利用状況に応じて段階的に整備)</li> <li>・遠賀川沿いを第2期(課題解決のうえ整備)</li> </ul> </li> <li>【第1期整備(東防波堤)に関して】</li> <li>●ターゲット層は初心者、ファミリー層</li> <li>●安全対策上必要となる設備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・転落防止柵、夜間照明は既設を活用</li> <li>・エリア別け、転落防止用フェンス</li> <li>・落水対策として、タラップ、浮輪</li> <li>・放送設備、防犯カメラ、安全運営マニュアル</li> </ul> </li> <li>●付帯施設・設備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ箱、駐車場(1号野積場)、手洗い場、トイレ、ベンチ(防波堤への設置)、救命胴衣</li> </ul> </li> <li>●利用料金と運用時間                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・無料開放、24時間開放、駐車場料金無料</li> </ul> </li> <li>●管理運営                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理人、管理事務所の設置はなし</li> <li>・芦屋港全体の一体的な管理が望ましい</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●付加価値創出                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・釣り教室</li> <li>・体験プログラム</li> <li>・地域内飲食店などとの連携</li> <li>・釣具のレンタル</li> <li>・遊漁船</li> </ul> </li> <li>●漁協エリアとのすみわけ、動線の確保<br/>(遠賀川沿いの利用客に対する漁協エリアへの侵入防止対策と動線確保)</li> <li>●漁業従事者との対話による、ルールの整備</li> <li>●ルール、マナーの整備と啓発</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●平成31年3月に、国土交通省港湾局より「釣り文化振興促進モデル港」に東防波堤及び芦屋港等海釣施設運営協議会(協議会)が指定される。</li> <li>●平成31年4月に協議会設置の方向性を専門分科会で定める。</li> <li>●福岡県からの芦屋港活性化基本計画のレイアウト変更提案によれば、東防波堤はポートパークとして活用されるため海釣施設整備が不可となる。そのため、ポートパークのために新設する波除堤に海釣機能を付加することが提案されている。</li> <li>【影響を受ける事項】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・東防波堤が使用できない</li> <li>・施設整備、開放まで時間を要する</li> <li>・釣り場が変わるため、釣果が異なる</li> <li>・駐車場やトイレなどの付帯施設の配置、動線が変わる。</li> </ul> </li> </ul> |

推進委員からの意見、漁協ヒアリング、他事例の調査の整理

| 推進委員会で出された意見・課題   | 漁協説明会・ヒアリング   | うみんぐ大島   |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●釣果とターゲット層の設定                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・海釣施設といえる程の釣果への懸念</li> <li>・釣果があがるための工夫<br/>(例えば)                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 高炉セメントなど海藻類が育成しやすい素材を使用し、魚が育成するための穴を設置</li> <li>→ 集魚灯の設置</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>●施設に関して                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ沖(北側)に配置する＝3号(2)物揚場の位置に合わせる</li> <li>・波除堤までの移動距離や利便性(距離と動線)への危惧</li> <li>・係留施設との併用によるトラブルの懸念(他場所での検討)</li> <li>・安全対策の実施</li> <li>・環境美化、清掃等</li> </ul> </li> <li>●施設への付加機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・釣堀の付加</li> </ul> </li> <li>●利用料金、サービス                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・料金は徴収する。(マナーや持続性に関する懸念)</li> <li>・ライフジャケットのレンタルと合わせて料金設定</li> </ul> </li> <li>●整備方法(年次計画)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・段階的な整備開放ではなく、遠賀川沿いも含め一体的に整備し同時に開放</li> </ul> </li> <li>●集客方法                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・集客力、認知度向上、他との差別化のイベントを年1, 2回実施。</li> <li>・魚の捌き方教室がセットになった体験プログラムの実施</li> </ul> </li> <li>●沖波止の使用(湾内では釣果がない)</li> <li>●ポートパークの管理棟と海釣管理施設との連携</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●釣客のマナーの悪さに関する指摘(漁船に乗る、道具を勝手に使う、フェンスを破るなど)</li> <li>●エリアをフェンスでしっかり区切る</li> <li>●倉庫への運搬車両の動線確保</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●海釣堤防で一定の釣果あり、釣堀でも釣れないことはあり、苦情も発生</li> <li>●直立消波ブロック構造で一旦波を受けるものの、流れがある構造体</li> <li>●釣堀(60m×30m×7～10m)の深さ10m以上ないと魚が釣れない</li> <li>●転落防止柵あり。堤防先に灯台。ベンチ・水道なし。トイレ等は入口付近にあり。</li> <li>●8時～17時(冬季16時)。堤防大人620円(小学生310円)釣堀5,500円(小学生3,500円)</li> </ul> |

## 推進委員等からの意見等に対する対応

| 推進委員会・漁協で出された意見・課題  | 専門分科会での協議事項  | 今後の検討事項ほか  |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●釣果とターゲット層の設定                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・海釣施設といえる程の釣果への懸念</li> <li>・釣果があがるための工夫<br/>(例えば)                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 高炉セメントなど海藻類が育成しやすい素材を使用し、魚が育成するための穴を設置</li> <li>→ 集魚灯の設置</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>●施設に関して                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ沖(北側)に配置する＝3号(2)物揚場の位置に合わせる</li> <li>・波除堤までの移動距離や利便性(距離と動線)への危惧</li> <li>・係留施設との併用によるトラブルの懸念(他場所での検討)</li> <li>・安全対策の実施</li> <li>・環境美化、清掃等</li> </ul> </li> <li>●施設への付加機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・釣堀の付加</li> </ul> </li> <li>●利用料金、サービス                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・料金は徴収する。(マナーや持続性に関する懸念)</li> <li>・ライフジャケットのレンタルと合わせて料金設定</li> </ul> </li> <li>●整備方法(年次計画)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・段階的な整備開放ではなく、遠賀川沿いも含め一体的に整備し同時に開放</li> </ul> </li> <li>●集客方法                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・集客力、認知度向上、他との差別化のイベントを年1, 2回実施。</li> <li>・魚の捌き方教室がセットになった体験プログラムの実施</li> </ul> </li> <li>●沖波止の使用(湾内では釣果がない)</li> <li>●ボートパークの管理棟と海釣管理施設との連携</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●釣果とターゲット層の設定                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・海釣施設といえる程の釣果への懸念</li> <li>・釣果があがるための工夫</li> </ul> </li> <li>●施設に関して                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・波除堤までの移動距離や利便性(距離と動線)への危惧</li> <li>・係留施設との動線</li> </ul> </li> <li>●整備方法(年次計画)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・段階的な整備開放ではなく、遠賀川沿いも含め一体的に整備し同時に開放</li> </ul> </li> <li>●利用料金、サービス                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・料金は徴収する。(マナーや持続性に関する懸念)</li> <li>・ライフジャケットのレンタルと合わせて料金設定</li> </ul> </li> <li>●ボートパークの管理棟と海釣管理施設との連携</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ沖(北側)に配置する＝3号(2)物揚場の位置に合わせる<br/>⇒3号(2)物揚場の位置</li> <li>・沖波止ほかの場所<br/>⇒安全上、ガイドライン上で他場所は困難</li> <li>・安全対策、環境美化、清掃<br/>⇒芦屋港を一体的に維持管理する中で検討していく内容</li> <li>・釣堀の付加<br/>⇒物理上不可能</li> <li>・集客力、認知度向上、他との差別化のイベントを年1, 2回実施。</li> <li>・魚の捌き方教室がセットになった体験プログラムの実施<br/>⇒海釣協議会で協議</li> </ul> |

# 施設配置パターン①：水上保管

福岡県作成のプレジャーボート係留施設専門分科会（10月30日開催分）資料。  
※この資料は、配置・隻数を検討するにあたり仮で作成した配置イメージ図です。  
あくまでも、図面上で仮置きしたもので、決定事項ではありません。

